

# たまたか

1996

11

No.363

空と緑、新、呼吸する——広報TAMAKAWA

## 小春日和

真つ青な空

赤、黄、オレンジ色に

彩られた山道

小鳥のさえずり

木々のゆれる音が

聴こえる

「自然との対話って

これかな。」

「歩くことって以外と

楽しいね。」

ポカポカ陽気に

胸も高まる

玉川村にある伊藤康家庭菜園の



# 平成8年度 玉川村民文化祭

力作が  
勢揃い

平成8年度の玉川村民文化祭が10月26日の山野草展を皮切りに村民体育館と就業改善センターで開かれました。村民文化祭は、児童生徒の習字や絵画などからお年寄りの作品まで幅広い年代層から出品され各種文化団体ごとに展示されました。また、本年も本村と国際友好都市の提携先である中華民国鹿谷郷の児童の習字や絵画が展示され国際色豊かな文化祭となりました。期間中、大勢の方々が入場し各展示作品の力作に見入っていました。なお、各展示会のおもな入賞者は、次のページのとおりです。

- ### 菊花展
- ◆功労賞 小山田義美
  - ◆県知事賞 大越 藤幸
  - ◆村長賞 草野 昭吉
  - ◆村議長賞 佐藤 計
  - ◆村教育長賞 満井 安喜
  - ◆JAあぶくま石川組合長賞 佐藤 計
  - ◆JAあぶくま石川組合長賞 増子 重直
  - ◆菊花愛好会長賞 岩谷 繁
  - ◆菊花愛好会長賞 矢部 操
  - ◆菊花愛好会長賞 大竹 ツネ
  - ◆公民館長賞 満井 安喜
  - ◆長宝園賞 満井 安喜
  - ◆あめだや賞 大越 藤幸
  - ◆あめだや賞 大木 正一

- ### 第41回 山野草展
- ◆村長賞 有賀 勝
  - ◆村議長賞 満井 治男
  - ◆山野草会長賞 奥野 四郎
  - ◆公民館長賞 車田 常代
  - ◆福島民友新聞社賞 添田 ナツ
  - ◆JAあぶくま石川泉支店長賞 車田 久七
  - ◆JAあぶくま石川須釜支店長賞 満井 良仰
  - ◆特別賞 車田 常代



- ### 児童生徒作品展(金賞)
- ◆川辺小学校
    - 関根 大倫(1年) ●佐藤 仁美(2年)
    - 野崎 静香(3年) ●関根 聡(4年)
    - 高瀬 太志(5年) ●熊田 好孝(6年)
  - ◆玉川第一小学校
    - 柳沼 直人(1年) ●小針 春香(1年)
    - 小林 晋大(2年) ●鈴木 亜希(3年)
    - 須藤 光輝(3年) ●柳枝奈津季(4年)
    - 大竹 悠太(4年) ●満井まな美(5年)
    - 佐久間和徳(5年) ●高原 亜耶(6年)
    - 小針 寿美(6年)
  - ◆須釜小学校(四辻分校)
    - 鈴木 和真(1年) ●草野加緒理(1年)
    - 小針 健次(2年) ●石森 泉(3年)
    - 塩沢 玲子(4年) ●石森 聖子(4年)
    - 宗形 裕二(5年) ●矢吹 昭人(6年)
    - 大木 一弘(6年)
  - ◆須釜小学校
    - 須田 知寛(2年) ●塩田 孝典(4年)
    - 石井 健一(6年)
  - ◆泉中学校
    - 柳枝 正智(1年) ●添田 博美(1年)
    - 真弓 知子(2年) ●会田 郁英(2年)
    - 高林 桜子(3年) ●満井 正文(3年)
  - ◆須釜中学校
    - 小山田進也(1年) ●関根 香(1年)
    - 有賀 朝美(2年) ●増子 恵美(2年)
    - 矢吹 千夏(3年) ●大野佐智子(3年)

- ### 私のアイデア貯金箱コンクール
- ◆郵政省貯金局長賞
    - 鈴木 啓章(川辺小5年)
  - ◆郵便局長賞
    - 車田 美幸(玉一小3年)
    - 増子 進吾(須釜小4年)
    - 関根 広之(須釜小6年)
  - ◆郵便貯金振興会賞
    - 小山田佳織(須釜小6年)
  - ◆玉川村教育長賞
    - 仁井田 淳(玉一小5年)
    - 鈴木 弥生(玉一小5年)
    - 矢部 美幸(川辺小3年)
    - 青山 成(須釜小2年)
    - 石森 達也(須釜小3年)
    - 関根 京子(須釜小5年)
    - 小原 利夫(須釜小5年)
    - 八木 達彦(須釜小6年)

- ### 税に関する習字展
- ◆須賀川税務署長賞
    - 近内 重美(須釜小1年)
    - 鈴木 麻里(玉一小2年)
    - 石澤 結梨(玉一小3年)
    - 近内沙弥香(須釜小4年)
    - 鈴木 啓章(川辺小5年)
    - 柳枝 史子(須釜小6年)
    - 車田 恭子(泉中1年)
    - 真弓さやか(泉中2年)
    - 矢吹 兼次(須釜中3年)
  - ◆玉川村長賞
    - 斎藤 理加(玉一小1年)
    - 鈴木 潤一(須釜小2年)
    - 八木智恵美(須釜小3年)
    - 石森 理恵(川辺小4年)
    - 宗形 愛(須釜小5年)
    - 真弓 英樹(玉一小6年)
    - 小針 蒙(泉中1年)
    - 小山田 智(須釜中2年)
    - 岩谷 研吾(泉中3年)



# 第6回 玉川村歩けあるけ健康家族大会



景色を楽しみながらゆっくりと

## 紅葉に彩られた山道 青空の下100名が参加

歩けあるけ健康家族大会は、11月3日午前9時に役場駐車場を出発。福島空港までの往復約8キロのコースで行われました。当日は、雲ひとつ無い青空に恵まれ、紅葉に染まった山々を眺めながら参加者は大満足。また、コースの途中にゲームやクイズを行うなど趣向を凝らした内容に笑い声がこだましていました。秋の彩り深い福島空港公園で昼食をとり、また、「よつばの会」の方たちが作ったトン汁が振る舞われ楽しい1日を過ごしました。



空港公園で梅干しの「タネとぼし」



途中でゲームを楽しむ



ユーモアあふれる石川先生の講演



赤ちゃんの写真コンクール

平成8年度  
**ふれあい健幸まつり**  
笑いは健康の「源」

健幸まつりは、11月2日に保健センターを会場に行われました。骨粗鬆症が多くなっていることから骨の元気度の検査や赤ちゃんの写真コンクール、元気茶屋などの催しが行われました。2階会議室では、元気クラブの会員によるヘルス寸劇「元気劇団公演」が開かれ会場は笑いの渦と化していました。また、お馴染みの石川雄一医師による「ふれあいがつくる本当の健幸とは」と題して講演が行われ巧みな話術に満員の会場から笑いが絶えませんでした。



「元気劇団公演」での熱演

# 祝 創立50周年記念式典

## 泉中学校

## 「村の学び舎」半世紀 在校生と関係者らで盛大に祝う

## 須釜中学校

須釜中学校の創立50周年記念式典は10月20日(日)須釜中学校体育館で開かれました。石森春男実行委員長、田中孝平校長よりあいさつのあと村長、議会副議長、教育委員からそれぞれ祝辞がありました。表彰式では、歴代のPTA会長と庭園保存会長に表彰状と記念品が贈呈されました。

泉中学校の創立50周年記念式典は10月27日(日)泉中学校体育館で開かれました。仁井田保雄実行委員長の式辞に続いて、村上進校長と滝口一夫PTA会長のあいさつ、それから村長、議会副議長、教育長からそれぞれ祝辞がありました。感謝状の贈呈では、歴代の校長とPTA会長に感謝状と記念品が贈呈されました。



泉中学校の創立50周年記念式典

須釜中学校の創立50周年記念式典

- 〔須釜中学校表彰者〕  
(敬称略)
- 元PTA会長 大木 吉邦 吉村 文雄
  - 森 清重 鈴木 好市
  - 塩沢 勝 石森 敏春
  - 円谷 忠重 関根 正敬
  - 小原 重孝 石森 一夫
  - 大野 式吉 矢吹 貞幸
  - 小針 一二 鈴木 喜一
  - 阿部 幸平
  - 元庭園保存会長 須釜勝太郎 大越 四郎
  - 佐藤 計
- 〔泉中学校感謝状贈呈者〕  
(敬称略)
- 歴代校長 本田吉之助 菊地 隆夫
  - 小山田 伸 木田 達男
  - 岡部 政雄 阿倍 治男
  - 小針 孝定 須田 昌守
  - 歴代PTA会長 矢部勇太郎 矢部 康美
  - 首藤 信勝 大竹 勝義
  - 佐久間倉太 三瓶 力
  - 矢部 玄信 吉田 敬一
  - 小針 章勇 國井 文雄
  - 車田 次夫 須藤 利夫
  - 三輪 健 藤田 守



演奏する大島彰氏

ピアニスト大島彰氏の講演とリサイタル

10月25日、泉中学校体育館にて泉、須釜両中学校創立50周年記念実行委員会の共催でピアニスト大島彰氏の講演会とリサイタルが開かれました。大島さんは、生まれつき目が不自由。講演では、そのハンディを乗り越えてきたことが話され、会場の生徒たちに強い感動を与えました。その後電子オルガンによる大島氏の演奏が行われ、透き通るような美しいメロディが会場内を包みこみました。



- 平成9年 成人おめでとう  
該当者は121人です
- 平成9年の成人式は、1月15日(成人の日)に、玉川就業改善センターで行われます。  
該当者は、次のとおりです。なお、該当しているのに名前が載っていない方や村外に住所があってもふるさとで成人式を迎えたい方は、12月6日までに村公民館☎57-4632にお申し込みください。
- 川辺地区(18名)  
川崎 文隆 野崎 宏之 目黒 精一 鈴木由美子 鈴木 栄  
須釜 光利 曲山 博貴 三瓶 順子 須藤 絵美 矢部 克也  
新國 潔 熊田 伸 佐藤真由美 矢部 裕也 須藤 竹利  
鈴木 信幸 矢部 博巳 須藤 勝
- 藤生地区(5名)  
佐藤 正男 佐藤 匡成 西牧志乃布 真弓 敏紀 藁谷 正利
- 小高地区(14名)  
車田恵理子 関根 浩司 佐藤 光一 石井 紀子 溝井 澄子  
國井 文香 白澤 稔 溝井 章 高原 要輔 溝井 克枝  
関根 孝幸 溝井 直樹 添田 恵子 吉田 尚靖
- 中地区(18名)  
鈴木 吉美 岡 武明 添田 俊雄 永林 知子 野口 美和  
石津 俊之 小林 幸正 佐藤 広美 鈴木 孝 小針 和恵  
吉田 正美 小針 千鶴 永林 一志 坂井 隆治 小針 和之  
水野 隆之 古寺 雅洋 水野 満貴
- 岩法寺地区(16名)  
矢吹 勝美 佐久間かおり 伊藤 祐子 草野 裕子 大竹 恵司  
大竹 恵 大竹真由美 村越 香織 村越 啓一 草野真理子  
佐久間倉義 武田 康雄 石森 知子 倉鎌 智恵 草野 寿治

- 川端 康行  
竜崎地区(16名)  
小林 由佳 橋本 明枝 小林 真紀 仁井田洋子 上野 一徳  
小林ゆかり 小林 達也 小林 雅也 小林 等 鈴木 梢  
上野 竜弥 小林 友和 小林 浩二 湯澤 陽子 阪本 洋子  
岡部 敬
- 南須釜地区(17名)  
小山田恭子 関根裕美子 穴戸 達也 大越 葉子 有賀 弘幸  
班目 宏 宗形 恭子 大木 政明 大越真由美 遠野志津子  
阿部久美子 阿部 果織 小原 友文 塩澤 明美 塩澤 秀隆  
荻野 雄一 大野 誠
- 北須釜地区(7名)  
矢吹かおり 鈴木 貴士 野口貴美子 矢吹 正則 佐久間玉枝  
矢吹 仁志 草野 美幸
- 吉地区(4名)  
矢部 貴啓 有賀 智子 須釜 幸夫 鈴木 浩一
- 山小屋地区(2名)  
石森真由美 石森 博文
- 四辻新田地区(4名)  
飯田 愛 関根 健二 飯田 幸子 渡邊としえ

平成8年度「家庭の日」作文・書写・少年の主張作文コンクール



表彰式の様子

玉川村青少年育成村民会議が主催した第12回「家庭の日」作文コンクール、第11回「少年の主張」作文コンクール、第4回「家庭の日」書写コンクールの表彰式が10月21日村就業改善センターで行われました。このコンクールは、子供たちと家族とのふれあいや体験を通して、その感動を心に残すことと、毎月第3日曜日の「家庭の日」の啓発を目的として村内全小中学生を対象に行われています。「家庭の日」の作文コンクールと書写コンクールの入賞者は、それぞれ49名でした。また、「少年の主張」作文コンクールの入賞者が10名でした。最優秀賞の受賞者は、次のとおりです。

第12回「家庭の日」作文コンクール最優秀賞(小学生の部)

| 学校名 | 学年 | 氏名   | 表題           |
|-----|----|------|--------------|
| 玉一小 | 1  | 岩瀬夏花 | わたしのおかあさん    |
| 〃   | 2  | 車田毅文 | みんなの力でなおった病気 |
| 〃   | 3  | 國井大輔 | お母さんの仕事      |
| 川辺小 | 3  | 関根昌明 | かそうぼんおどり     |
| 玉一小 | 5  | 佐藤友佳 | お父さんはすごい     |
| 須釜小 | 6  | 関根広之 | ぼくのお盆        |

第12回「家庭の日」作文コンクール最優秀賞(中学生の部)

| 学校名 | 学年 | 氏名   | 表題        |
|-----|----|------|-----------|
| 泉中  | 3  | 佐藤由樹 | コロケの味は... |
| 〃   | 3  | 須藤美幸 | 親の力       |

第4回「家庭の日」書写コンクール最優秀賞(小学生の部)

| 学校名 | 学年 | 氏名     |
|-----|----|--------|
| 須釜小 | 1  | 小山田 恵子 |
| 玉一小 | 2  | 小針 千佳  |
| 〃   | 3  | 石澤 結梨  |
| 川辺小 | 4  | 鈴木 淳子  |
| 須釜小 | 5  | 木戸 智美  |
| 〃   | 6  | 小山田 佳織 |

第4回「家庭の日」書写コンクール最優秀賞(中学生の部)

| 学校名 | 学年 | 氏名   |
|-----|----|------|
| 泉中  | 1  | 小針 豪 |
| 泉中  | 3  | 石井明子 |

第11回玉川村「少年の主張」作文コンクール最優秀者

| 学校名 | 学年 | 氏名    | 表題           |
|-----|----|-------|--------------|
| 須釜中 | 3  | 太田 智子 | 高齢化社会になる今だから |

愛の献血をありがとう

10月11日の献血者は、次の49人でした。あなたの愛に感謝いたします。

秋田秀男 有我 冬 石森

- とよ 大中茂喜 坂崎 昭 佐藤健一 藤田弥生  
松川勝徳 渡辺孝志  
◆駒木根工業(株)(6人)  
石井正登 大竹いち子  
熊田里美 小林和良 南 條玲子 真弓英典  
◆(株)山丁ム(13人)  
阿部光吉 荒牧勇二 石 森金弘 大野忠春 大和 田紀美枝 小宅さとみ  
草野寿治 近内源吉 塩 沢善勝 杉山隆二 鈴木 繁一 二瓶勝彦 藁萱秀 和  
◆JAあぶくま石川須釜 支店(3人)  
塩沢直一 関根さゆり 矢吹ゆみ  
◆(株)玉川畜産センター (8人)  
阿部金四郎 石森三男 石森代志子 佐久間 昇 須田正行 宗形菊男 本 野憲一 渡辺英雄  
◆玉川村役場(10人)  
草野正博 車田ヨシ子 小原幸春 小林里美 小 針達夫 塩田 敬 曲山 道子 溝井陳彦 谷地幸 子 吉田貴子

頑張れ!たまかわ 選手団結団式



本部長に決意を表明する小針正光選手

10月28日(月)午後7時から村就業改善センターにて第8回市町村対抗福島県縦断駅伝競争大会の玉川村選手団の結団式が開かれました。

式には、選手のほか村関係者、議員、教育委員会関係者などが出席して行われました。各選手の紹介と団旗の伝達のこと、本部長の車田村長と実行委員長の渡辺体育協会会長からあいさつがありました。また、宗形副議長と小原教育委員長から激励のことばを受け、溝井監督があいさつ。選手団を代表して小針正光選手が決意を表明しました。

- 監督 溝井賢一郎(会社役員)  
コーチ 増子 清一(須釜中教頭)  
コーチ 石森四郎一(東部運送)  
コーチ 小針 一志(コバリ抜型)



玉川村選手団

- コーチ 岩谷 唯義(東京精工) 区間最終エントリーメンバー
- 1区 高橋由美子 (須釜中学校3年)  
2区 鈴木 貴子 (泉中学校3年)  
3区 深谷 亮 (泉中学校3年)  
4区 藤田 貴裕 (学法石川高校3年)  
5区 真野目雄治 (須釜中学校3年)  
6区 石森 猛 (学法石川高校1年)  
7区 我妻 広弥 (県立石川高校2年)  
8区 鈴木 悟 (泉中学校3年)  
9区 境田 浩章 (須釜中学校3年)  
10区 須藤 裕子 (泉中学校3年)  
11区 塩沢 和彦 (株仁和運送)  
12区 小針 正光 (東京精工)  
13区 関根 勝夫 (学法石川高校2年)  
14区 鈴木 文子 (県立清陵情報高校1年)  
15区 草野 敏史 (学法石川高校3年)  
補欠 矢吹 誠 (須釜中学校3年)  
補欠 吉村 功次 (須釜中学校3年)  
補欠 小原 修 (須釜中学校3年)  
補欠 草野 孝弘 (須釜中学校3年)  
補欠 増子 恵美 (須釜中学校2年)  
補欠 鈴木 千裕 (須釜中学校1年)

# トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—  
役場総務課広報広聴係まで



野外ステージで披露された南須釜の念仏踊り

## ふるさと『いしかわ』夢フェスタ 石川地方の名物・産物大集合

10/27

石川地方5町村の地域間交流を推進することを目的とした「ふるさと いしかわ 夢フェスタ」が石川町のクリスタルパーク石川で開かれました。

いわき石川青年会議所主催、石川郡五町村の共催で、各町村からの名産、特産物の展示即売や各種イベントが行われ賑わいました。

玉川村からは、「五平の酒」さるなしワイン「竹酢液」などのほか多くの産品が出品されました。また、五町村の芸能の競演では、玉川村からは「南須釜の念仏踊り」が出演。野外ステージでの子供たちの華麗な演技と鮮やかな衣装は、ほかほか陽気の中、芝生席の家族づれなどの観客を魅了していました。

## 大正琴の演奏会

ふれあいセンター介護者教室

今回の介護者教室には、中老人クラブ大正琴愛好会（角田照子会長）のメンバーによる演奏会が行われました。この日の利用者は小高地区の皆さんで大正琴の演奏を直に聴き、特異な音色に楽しいひとときを過ごしました。

中老人クラブ大正琴愛好会は現在、9名の会員で毎週1回の練習を行っています。

また、この日は佐藤清子さん（蒜生）の舞踊も上演されました。

10/29



中老人クラブ大正琴愛好会の演奏を聴く利用者



左から矢吹泰成くん、有賀千紘さん、大木佑子さん

## 「吉田富三・子ども科学賞」特別賞 須釜小の3人が受賞

10/26

平成8年度の「吉田富三・子ども科学賞」の授賞式は浅川町の吉田富三記念館で開かれ、特別賞に須釜小学校から3名の児童が受賞しました。この特別賞は、石川郡内の小学生が対象で6名（各学年から1名）が受賞。受賞者の半数が須釜小学校の児童という快挙に同校では大喜び。同賞は、がん研究の先駆者吉田富三博士の偉業を記念するとともに、未来を担う青少年の科学教育の伸展に期待して吉田富三記念館が行っており、今回で3回目でした。

なお、受賞者は次のとおりです。〔敬称略〕

|                       |      |
|-----------------------|------|
| 1年 「あまいものがすき」         | 有賀千紘 |
| 2年 「いも虫のかんざつ」         | 矢吹泰成 |
| 3年 「みそ汁の中のとうふと空気のかん係」 | 大木佑子 |



## 珍しい マムシの子供

10/2

北須釜の須田荘助さんは、自宅近くでマムシを捕獲。捕獲したマムシを瓶に入れておいたところ、翌日、マムシの頭が2つになってることに気付いてビックリ。よく見ると1匹は子供でした。それから1日に1匹づつ生まれて合計5匹の子供が生まれました。

「マムシは、子供を生むと死んでしまうとか、生む時に子供は親の腹を喰いちぎってしまうなどと聞いていましたが、その話は嘘ですね。親の腹にはキズもありません。」と須田さん。親に比べて色は多少薄めですが、子供と言っても約20cmくらいあります。アクビをするなどグロテスクながらも子供っぽい可愛い様子が伺えました。



## 安住の地を求めて キジ・ヤマドリを放鳥

10/28

四辻新田及び青井沢地区の休猟区にキジ、ヤマドリの放鳥事業が行われました。

この事業は、毎年、狩猟解禁の直前の時期に行われることから狩猟者のための放鳥と勘違いされますが、鳥獣保護及び狩猟に関する法律に基づいて策定されている鳥獣保護事業計画によりキジ・ヤマドリの保護増殖を図ることを目的として行われています。この日、玉川村分に40羽が放され、鳥たちは安住の地を求めて森の中へと飛んで行きました。

## 危機に備えて

10/2

福島空港での航空機事故等の緊急事態を想定しての総合訓練が、福島空港内エプロンで県、空港、消防、警察、医療などの機関から約二百人が参加して行われました。

訓練は、「大阪発札幌行きB767型機が福島上空において故障し福島空港に緊急着陸、滑走ランスを崩してオーバーランし炎上した」との想定。速やかに現地本部が設置され、消防、医療機関へ通報。玉川村からも消防車が出動し消火作業の訓練を行いました。また、機内の座席から負傷者を運ぶ訓練では、実際に救急車で病院まで搬送しました。

参加者は、本番さながらの緊張した雰囲気の中、各種訓練に真剣に取り組んでいました。



負傷者を機内から搬送する訓練

## 青少年スポーツの振興に期待 スポ少が誕生

10/26

玉川ライオンズクラブでは、創立5周年を記念してスポーツ少年団の設立を行いました。設立式は、村民グラウンドで開かれ入団予定の小学生約40名と保護者が参集しました。式では、設立までの経過が永瀬実行委員長より説明され、曲山ライオンズクラブ会長からあいさつのあと、来賓の車田村長、小林教育長からお祝いのことばがありました。

スポーツ少年団は、男子のソフトボールと女子のミニバスケットボールの2競技で村内の小学4、5年生が対象となっています。入団などの問い合わせは、玉川ライオンズクラブの永瀬さん ☎(57) 3953まで。





健康まつりから

### 人にやさしいまちづくり推進大会

県では、高齢者や障害者等に配慮したやさしいまちをつくるために、誰もが安心して暮らせる「人にやさしいまちづくり」県民運動を多くの人々に拡げていくことを目的として、「人にやさしいまちづくり推進大会」を開催します。

◆日時 11月28日(木)午後1時～(正午開場)  
 ◆場所 会津若松市「會津風雅堂」  
 ◆内容 ①「人にやさしいまちづくり賞」の授与  
 ②公演～「わたぼうし語り部」〈世界でも初めての、言葉に障害を持つ「語り部」たちが行く、語り芸によるパフォーマンス。〉  
 ③講演及びトークショー～三笑亭夢之助氏(落語家)〈講演と、身近にある「人にやさしいポイント」についてのトーク。〉  
 ④福祉機器展示ほか  
 ◆入場無料  
 ◆問い合わせ先  
 福島県長寿社会対策室 ☎0245-21-7277

### 自衛隊生徒募集

〔受付期間〕 11月1日～平成9年1月4日  
 〔応募資格〕 中学校卒業(見込みを含む)の方で平成9年4月1日において15歳以上17歳未満の男子  
 〔試験〕 1次 平成9年1月5日(日)  
 2次 平成9年1月22日(水)～1月26日(日)  
 〔入隊〕 平成9年3月下旬  
 〔待遇〕  
 ●給与(月額) 1年次～151,500円 2年次～158,800円  
 3年次～173,400円 4年次～181,000円  
 ●手当 期末勤労手当は、年3回支給 年間:5.20月分  
 ●衣・食・住 全員、学生宿舎で生活。衣服類・寝具・食事・宿舎費は無料。  
 ●休暇 夏・冬・春季に、それぞれ2週間の連続休暇有り。完全週休2日制。  
 〔教育内容〕 はじめの2年半ないし3年間は一般高校と同じ学科と各種技術の基礎を学びます。  
 〔問合せ先〕 自衛隊郡山募集事務所 ☎0249(32)1424

### 年金ガイド

#### 年金番号がひとつになります 基礎年金番号

基礎年金番号って何？  
 ひとりひとりの年金の記録は、これまで国民年金、厚生年金、共済組合などの各制度の番号で管理されていましたが、来年1月からは、共通の番号となり、生涯に1つの基礎年金番号を持つようになります。

就職や退職で加入する年金制度が変わっても、同じ年金番号を使用しますので、必要な届出を忘れた場合でも、個別にお知らせできるようになります。



今の年金手帳の番号が平成9年1月1日から基礎年金番号になります。

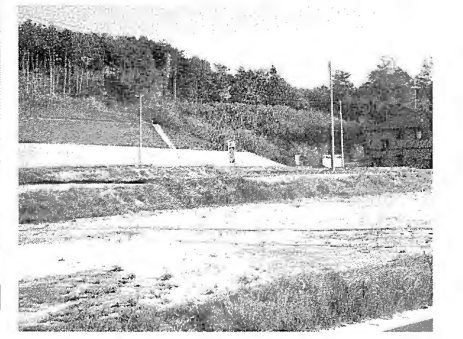
### 赤坂団地分譲

#### 先着順受付のお知らせ



福島県住宅供給公社では、赤坂団地の宅地分譲(8区画)の購入者を先着順受付で募集しています。

受付のお問い合わせは、玉川村役場企画財政課(☎0247-57-4629)まで。



### 第13回 村民卓球大会

玉川村卓球クラブ(塩沢正勝会長)主催の卓球大会を下記により開催します。奮って参加してください。

◆日時 12月8日(日)午前9時開始  
 ◆場所 勤労者体育センター(南須釜)  
 ◆種目 小学生の部「シングルス」  
 中学生の部～一般の部「シングルスとダブルス」

◆参加資格 村内に居住している方、又は村内に勤務している方  
 ◆参加資格 11月29日(金)までにクラブ会長(☎57-3907)又は公民館へ

### 伝言板

#### 一龍斎貞花文化講演会

玉川村公民館主催の文化講演会は、講師師五代目一龍斎貞花氏を講師に迎え次の日程で開催されます。皆さんお誘い合せのうえご来場ください。

- ◆とき 平成8年12月12日(木)  
午後6時会場 午後6時30分開演
- ◆ところ マーヴェラス末広
- ◆入場料 無料

#### 一龍斎貞花プロフィール

昭和14年 愛知県に生まれる。  
 昭和43年 一龍斎貞丈に入門して貞正。(29歳の時サラリーマンより転身)  
 昭和51年 五代目一龍斎貞花を襲名し貞打ち。  
 平成2年 愛知県知事ボランティア賞を受賞。

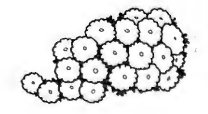


年4回の独演会は、独自の境地を開き好評を博している。特に野球講談は、テレビ・ラジオ等で実況放送、名選手物語、ゲスト解説。昭和50年中日を優勝させる会々長、ドラキチでおなじみ。現在、講談協会理事。日本演芸家連合常任理事の職にある。

### 寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 中の小針幸吉さんから 5万円
- 竜崎の小林元安さんから 2万円
- 吉の滝口吉次さんから 2万円



(村社会福祉協議会)

### 村のようす

(8年11月1日現在)

- 1,724戸(+2)
- 7,643人(+11)
- 3,746人(+7)
- 3,897人(+4)

### お誕生おめでとうございます

(10月届出分)

| 地区  | 出生児氏名                    | 保護者名 |
|-----|--------------------------|------|
| 川 辺 | 大竹 忍 <small>しのぶ</small>  | 多 勝  |
| 〃   | 前田 唯人 <small>ゆい</small>  | 勝    |
| 中   | 熊田 水輝 <small>みづみ</small> | 喜 三  |
| 竜 崎 | 小林 香澄 <small>かか</small>  | 伸 一  |
| 〃   | 上野 葉 <small>しおり</small>  | 正 幸  |
| 北須釜 | 草野 光紀 <small>こうき</small> | 光 弘  |

### おくやみ申し上げます

(10月届出分)

| 地区  | 死亡者氏名  | 年齢 | 世帯主名 |
|-----|--------|----|------|
| 中   | 小針 ヒサヨ | 68 | 武 夫  |
| 竜 崎 | 小林 キチヨ | 60 | 元 安  |
| 吉   | 滝口 ハツイ | 73 |      |

### 今月の納税

【納期限は11月25日(月)です。忘れずに納めましょう】

|         |      |
|---------|------|
| 村 民 税   | 第3期  |
| 国民健康保険税 | 第5期  |
| 国民年金    | 11月分 |

### 11月・12月の健康ごよみ

- 11月
    - 20日(水) 子宮ガン健診 午前8時30分～
    - 22日(金) 子宮ガン健診 午後1時30分
    - 27日(水) 機能訓練 午前10時～
  - 12月
    - 5日(木) すくすくクラブ 午前9時30分～
    - 9日(月) 健康講演会 午後1時30分～
    - 10日(火) 機能訓練 午後1時30分
    - 11日(水) 三種混合予防接種 午後1時～  
股関節脱臼検診 午後1時～2時
    - 12日(木) 三種混合予防接種 午後1時30分～  
子育て講演会 午後6時30分～
    - 13日(金) 乳児健診 午後1時
- 保:保健センター 須:須釜公民館  
 石:石川保健所 受:受付時間

### 玉川村短歌会佳作抄

山の峰光のさしてのぼりくる月にほのめく思いもなりぬ  
 立つ風に蟻の動きの疾くなりてそれぞれ運ぶ虫の亡骸  
 秋桜いまを盛りに咲く庭に小鳥らも来て何かさえずる  
 入団をしたる途端にラッパもてホラは吹けない日常をもつ  
 老いていま瘦せたる胸に手を置けばふくよかなりし若き日の夢  
 古里は過疎の村なり家めぐる祭り御輿が軽トラに乗りて

登那木きみ 小針みね子 曲山きくみ 白旗 隆 真弓 はん 真弓五三男

村公民館

泉・須釜両中学校創立50周年記念特集 恩師を訪ねて ⑥

高橋 一雄 先生

— 須釜中に勤務されたのはいつ頃でしたか？

「新任教員として昭和47年から51年までの5年間お世話になりました。」

— 当時の思い出深い出来事と云えば……

「あの小さな校庭で運動したことが今でも心に残っています。それでも野球部が準優勝をしました。」

— 校外でも「須釜クラブ」に所属して野球をやられたそうですね。

「野球は好きでしたので下宿に帰る途中、須釜小学校で練習しているのを見て我慢できずに入会しました。野球だけでなく幅広い活動でいろいろな



平成8年5月5日、吾妻小富士山頂にて

川俣町生まれ、福島大学卒。須釜中学校を振出しに川俣町立山木屋中、福島第四中、福島市立野田中、福島市大島中を経て、現在は福島市立信陵中に勤務。趣味は、「運動すること」。福島市御山字仲ノ町100-3の自宅に奥さん、2男1女と5人暮らし。48歳。

印象をお聞かせください。

「保健体育と理科でした。生徒は純真さをもち、思いやりがあり活動的な生徒達でした。運動も活発で楽しい学校生活を送ることができました。」

— 教え子や地域の皆さんへのメッセージがありましたら。

「若さだけ全面に出し厳しい指導を無理に強いて、『ばかになれ』と叫んでいました。時が過ぎ今は角がとれたように思います。須釜には定期的に足を運んでいますが顔を出せないのが残念です。」

※このコーナーへの恩師のご紹介を募集しています

面で多くの修行をさせていた「下宿されていたそうです。が下宿先や地域の人たちとのふれあいで印象深いことは？」

「やまとや旅館に5年間お世話になりました。」  
— 先生の担当教科と生徒の話になりました。地域の行事



現在の化粧畑のようす

シリーズ「たまかわの俗地名」

『化粧畑』の由来(竜崎)

竜崎村(現在の竜崎区)は約七〇〇年以前、荒池より流れる小川を隔てて、北側(字ヶ滝の東方面)を辺田村と言ひ、現在の古辺田に辺田城が構えてありました。城主小林丹後守は愛娘を隣村の田中のお城に嫁がせました。その時に畑50アール(5反歩)を「娘をよろしく頼む」という気持ちを表すのに化粧代として領地の経界を交えて贈ったと言ひ伝えられてきました。その畑は肥沃な上畑で、誰が見ても辺田村(竜崎)領地であるのは確かです。化粧料として渡したこと

から「化粧畑」の呼び名が付けられ、地域の人たちの話題となつて今も絶えることなく言い継がれております。因みに辺田村と竜崎村が合併されたのは、文保の頃(今から約六七〇年前)小林丹後守が竜崎村の臥龍城の城主となつて、辺田村も合わせ治めたことと言ひ伝えられます。

「化粧畑」の所在地は、竜崎字下古田地内で、水池の下方、水郡線と阿武隈川の間位置しており現在は、畑ではなく水田となっています。(小林隆次)

東京玉川会コーナー

心に残る 我がふるさと

『我が故郷、北須釜』

栃木県足利市 矢吹 廣 一さん

(北須釜出身・矢吹春雄さんの弟)



今年の夏、実家の近くで母親、甥、姪と

夏の暑さがいつもの年より感じた平成八年。今年の東京玉川会総会・懇親会も盛大のうちに新役員が選任されて終了いたしました。旧役員の方々、大変お疲れ様でした。

玉川村から今年もご出席を下さいました村長様はじめ村議会議長、郵便局長、商工会役員、役員職員の皆さん多くの方々、東京玉川会をご支援下さいまして誠に感謝申し上げます。また、この様に玉川村を出て働いている私たちに村の情報とふれあいを設けてくださっている市町村(故郷)をもっているのは、私の知り合いの中にはおりません。私の故郷「玉川村」をいつも自慢しております。年に5、6回玉川村に帰る機会があります。昭和36年、東京に向かった頃は、

県道は砂利道で畦道は草だらけでした。一步一步苦しい思いで田畑を手伝ったことを今でも忘れられません。今、故郷は、田畑の改良、働きやすい環境を創出して空港も手伝って新しい故郷が私の中に出て来上がりました。家の周りの風景も変わってしまってお袋と兄貴と話す時は、昔話に花を咲かせます。今年もお盆の帰郷の際に新しくされた道を実家に向かう時、道路沿いにサルビア・マリーゴールド・カーナの花が綺麗に手入れされて咲き誇って迎えてくれました。北須釜周辺を車で走るとき、車を止めて花に近づくと、私だけでしょいか？。この花を育ててくださった関係者の皆さん、この道を綺麗に清掃して護り続ける玉川村民といつまでもしあわせでありたいです。